

平成23年行政事業レビューシート

(法務省)

事業名	バイOMETRICSシステムの維持・管理	担当部局庁	入国管理局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	総務課	入国管理調整官 建山 宣行			
会計区分	一般会計	施策名	出入国の公正な管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	出入国管理及び難民認定法第6条第3項	関係する計画、通知等	テロの未然防止に関する行動計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・外国人個人識別情報(バイOMETRICS)システムによる上陸審査の厳格化 国民の生命と安全を脅かすテロリストのほか、偽変造旅券等を利用して繰り返し不法入国する者など、我が国にとって好ましくない外国人の上陸を未然に防止することを目的とする。 ・自動化ゲートシステムによる出入(帰)国手続の円滑化 出入(帰)国手続の簡素化・迅速化を図り、日本人及び本邦に在留する外国人の利便性の向上に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・外国人個人識別情報システム 上陸審査時に外国人本人から取得した指紋及び顔写真からなる個人識別情報(バイOMETRICS)を、当局が保有する要注意人物リストと照合することによって、より正確かつ迅速な要注意人物の発見が可能となる。なお、照合の結果から要注意人物と疑われる者については、慎重審査に付し、入国を認められない人物であることが判明した場合には、退去強制、退去命令を行うこととなる。 ・自動化ゲートシステム 個人識別情報(バイOMETRICS)の事前登録を行った日本人及び外国人については、自動化ゲートの通過時に指紋、顔写真及び旅券情報を提供することにより、通常よりも簡易な手続きによる出入(帰)国が可能となる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	3,997	4,085	4,158	4,298	3,552
		補正予算	505	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	4,502	4,085	4,158	4,298	3,552
		執行額	4,180	4,016	4,139		
	執行率(%)	92.8%	98.3%	99.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	バイOMETRICSシステムは、テロリスト等、我が国にとって好ましくない外国人の上陸を未然に防止することを目的としていることから、定量的な成果目標を立てることに馴染まない。		成果実績 達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	上陸申請時における外国人本人(特別永住者や16歳未満の者等、一部例外を除く)及び自動化ゲートを利用する日本人からのバイOMETRICS(指紋及び顔写真)の取得・照合件数 [うち自動化ゲート利用人数]		活動実績 (当初見込み)	人数	8,935,089 [224,588]	8,530,363 [368,422]	8,693,751 [745,971]
単位当たりコスト	1 バイOMETRICS取得のコスト:476(円/人数)		算出根拠	1 バイOMETRICS取得に係る単位当たりコスト= X / Y X = 平成22年度執行額(4,139,063,123円) Y = 平成22年度中のバイOMETRICS取得人数(8,693,751人)			
	2 自動化ゲート利用のコスト:69(円/人数)			2 自動化ゲート利用に係る単位当たりコスト= X / Y X = 平成22年度執行額(51,998,791円) Y = 平成22年度中の自動化ゲート利用人数(745,971人)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	機器賃貸借料	3,774	3,182	機器の一部を再リース契約することによる借料の減			
	稼働維持委託費	89	91	関西空港LCCターミナル供用開始に伴う機器増設備による稼働維持委託費の増			
	機器保守料	42	42				
	調査研究費	393	189	2か年国債(平成23・24年度)の割振り額の差			
	据付等導入費	0	48	関西空港LCCターミナル供用開始等に伴う機器増設備による増			
	計	4,298	3,552	東日本大震災復興関連事業(要求26百万円)			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>昨年実施した行政事業レビューにおいて、当該事業については、「自動化ゲートについて費用対効果を明確にする必要がある。」旨の指摘を受けたところであり、出入国審査全体の中での自動化ゲート(平成22年度の予算額は36百万円、執行額は52百万円である。)の位置付けを見直した上で費用対効果を明確にすべく、バイオメトリクスシステム全体について、将来の在るべき姿に関する調査研究を実施し、費用対効果の検証等を行い、コスト面等の適正化を図ることとしている。</p>
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>昨年度実施した行政事業レビューにおいて、当該事業については、「自動化ゲートについて費用対効果を明確にする必要がある。」旨の指摘を受けたところであり、出入国審査全体の中での自動化ゲート(平成22年度の予算額は36百万円、執行額は52百万円である。)の位置付けを見直した上で費用対効果を明確にすべく、バイオメトリクスシステム全体について、将来の在るべき姿に関する調査研究を実施し、その費用対効果の検証等を行い、コスト面等の適正化を図ることとしている。また、システム機器のうち、平成24年10月末をもってリース契約が満了する機器について、再リース契約を締結することにより経費の節減を図ることとする。</p> <p>なお、昨年度のレビューにおいて、システムの心臓部をなすサーバ群の保守料を見直し、2.8億円のコスト削減を行い、平成23年度予算に反映している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	システム機器の更新計画については、損耗状態等を踏まえた更新計画の見直しを行い、その結果を適切に予算に反映すべきである。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	所見のとおり、システム機器のうち、平成24年10月末をもってリース契約が満了する機器について、再リース契約を締結することにより経費を削減した。 (▲666百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>※22年度公開プロセス対象</p> <p>レビューシート番号:0067 事業名:バイオメトリクスシステムの維持・管理 結果:抜本的改善 とりまとめコメント: 公開プロセスにおいては、自動化ゲート(平成22年度:予算額36百万円、執行額39百万円)について費用対効果を明確にする必要があるとの指摘を受けた。これを踏まえ、自動化ゲートについては、現状の設備で、2011年までの利用状況を踏まえ、利便性、コストパフォーマンス等を検証して、その後の配置計画を検討すべきである。また、バイオ関係システム全体の保守経費の見直しを図り、経費の削減を図るべきである。</p>			

法務省

4,139百万円

出入国の公正な管理に必要な物品の賃貸借及び役務の契約

【一般競争入札・随意契約】

A. 日本電気株式会社ほか

4,139百万円

出入国管理業務個人識別情報システム用バイOMETRICS装置等賃貸借ほか

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 日本電気株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	バイオメトリクス装置賃貸借料	2,898			
役務費	バイオメトリクスシステム運用支援業務請負	90			
計		2,988	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株式会社	バイオメトリクスシステムの心臓部をなすサーバ群等の機器に係るリース(保守付き)契約	3,023 (2,898)	随意契約	-
2	東京センチュリーリース株式会社	バイオメトリクスシステムのバイオメトリクス情報の保存等を行うオープンサーバ機器に係るリース(保守付き)契約	734	随意契約	-
3	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	バイオ審査に用いる旅券読取装置に係るリース(保守付き)契約	270 (99)	随意契約	-
4	住信・パナソニックフィナンシャルサービス株式会社	旅券読取装置リース(保守付き)契約	31 (24)	随意契約	-
5	NECキャピタルソリューション株式会社	旅券読取装置リース(保守付き)契約	29 (17)	随意契約	-
6	沖電気工業株式会社	自動化ゲートに係る保守契約	23 (13)	随意契約	-
7	芙蓉総合リース株式会社	自動化ゲートに係るリース(保守付き)契約	22	随意契約	-
8	日本電子計算機株式会社	自動化ゲートに係るリース(保守付き)契約	7	随意契約	-
9	株式会社日立製作所	バイオメトリクスシステム用端末のソフトウェア保守契約	0.3	随意契約	-

※支出先の括弧書き、入札者数及び落札率については、支出先との契約が複数ある場合、契約額が最も大きいものについて記載している。